

# これまで、そしてこれからの情報提供と、質疑応答



ほりぐち いつこ  
食品安全委員会 委員 堀口 逸子

2001年9月、国内でBSE（牛海綿状脳症）感染牛が確認されました。これが直接的なきっかけとなり、2003年、食品安全基本法が制定され、食品安全委員会（以下、委員会）が設置されました。

## アンケートによる「消費者に必要な食の安全に関する知識」調査

2008、2009年、私が所属していた厚生労働省の研究グループで、食品安全委員会専門委員（以下、専門委員）、全国保健所等の食品衛生監視員を対象とした質問紙調査を実施しました。

質問紙調査では、まず「消費者に必要な食の安全に関する知識」とはどのようなものか、自由回答で意見を記載してもらいます。各々の回答から項目を抽出し、2回目調査として、優先度の高い項目は何かと順位をつけてもらいます。結果を表1に示します<sup>1,2)</sup>。食品衛生監視員を対象と

した調査では、当時は牛の生レバーも提供されており、生食の危険性が第1位でした。調査3年後の2011年に、ユッケを原因食品とした広域の食中毒が発生し、5人が亡くなりました。

2017年、委員会では、専門委員、食品安全モニター、食品安全担当部局自治体職員を対象に、同じ方法で調査を実施しました。結果を表2に示します<sup>3)</sup>。5つすべての調査から、リスクの概念や安全と安心の違いが、すべての国民の知識となるよう、継続して支援していかなければならないと考えられます。

## スマートフォン社会での情報提供

ところで、スマートフォン（以下、スマホ）はいつ頃から使っていますか。スマホは、2007年、初めて米国でiPhoneが発売されて以来、世界中で普及しています。

現在、日本人2人に1人がスマホを

持つ時代。スマホの普及とともに利用が増加してきたものがFacebookやTwitter等のSNSです。委員会も公式Facebookを始め、年々閲覧者数が増えています。委員会が設立された当時に出生した子どもは、今年中学3年生となり義務教育を終えます。自分で食を選択できる能力が身についてきているのでしょうか。「キッズボックス」は好評につき、充実を図りますが、季刊誌『食品安全』は、配布先への利用状況調査等から年1回発行になります。

一方で、情報提供だけでは専門的な内容について理解することは難しいと感じています。昨年開催した講座「精講アクリルアミド」は、評価書と照らし合わせながら情報提供するとともに、質疑応答を行いました。

今後も、限られた資源を有効に活用し、時代に即した情報提供等に努めてまいります。

表1 2008年、2009年質問紙調査結果

順位	食品衛生監視員	専門委員
1	生食の危険性	リスクの考え方（リスクゼロ）
2	食中毒防止	残留農薬
3	食品表示	遺伝子組換え農作物・食品
4	ゼロリスク（リスクゼロ）	化学物質の量と作用の関係
5	健康食品	メディアの功罪

表2 2017年質問紙調査結果

順位	専門委員	食品安全モニター	自治体職員
1	リスクという概念	安全と安心	肉の生食によるリスク
2	いわゆる健康食品	腸管出血性大腸菌による食中毒	カンピロバクターによる食中毒
3	安全のコストと適切なリスク管理	ノロウイルスによる食中毒	食中毒の予防と対策
4	安全と安心の違い	いわゆる健康食品	食の安全と安心の考え方
5	自然毒による食中毒	食品の表示	ノロウイルスによる食中毒

- 1) 中垣俊郎、堀口逸子、赤松利恵、田中久子、馮巧蓮、丸井英二。消費者に必要な食の安全に関する知識－食品衛生監視員対象の質的調査から－。厚生労働省 56：48-52, 2009
- 2) 益山光一、堀口逸子、赤松利恵、丸井英二。消費者に求める食の安全に関する知識－日本における食品リスク評価者を対象とした質的調査－。日本食品化学学会誌 19：44-48, 2012
- 3) 食品安全委員会企画等専門調査会資料2 参考4 <http://www.fsc.go.jp/fscis/meetingMaterial/show/kai20171129ki1>



### ▼食品の安全性に関する知識・理解を深めていただくために

**食の安全ダイヤル 03-6234-1177**

受付時間 10:00～17:00（土・日・祝祭日、年末年始を除く）  
（2018年4月2日より、受付時間は平日の10:00～12:00、13:30～17:00となります）  
【Eメール受付】<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-0001.html>

**食品安全委員会ホームページ** <http://www.fsc.go.jp/>

食品安全委員会

**食品安全委員会 e-マガジン登録** <http://www.fsc.go.jp/e-mailmagazine/>

「食の安全ダイヤル」[e-マガジン登録]は、食品安全委員会のホームページからもアクセスできます。

**公式Facebook** <http://www.fsc.go.jp/sonota/sns/facebook.html>



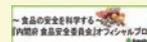
食品の安全性に関する身近な情報をお伝えしています。

### 表紙写真：モモ（花）

中国原産のバラ科の落葉小高木で、4月頃、葉が出る前に薄桃色の花をつけます。夏に収穫される果実は水分、糖分、カリウム等を多く含み、生食や缶詰など食用として幅広く利用されています。

[写真提供：山添康委員]

**オフィシャルブログ** [http://www.fsc.go.jp/official\\_blog.html](http://www.fsc.go.jp/official_blog.html)



食品の安全性に関する情報やメールマガジン【読物版】をお伝えしています。



内閣府 食品安全委員会事務局

〒107-6122 東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル22階

TEL 03(6234)1166

編集・発行：食品安全委員会  
製作：株式会社SCICUS